

市長！ミサワホーム案に なぜ決めたのですか？

東街区・新たな計画市民検討会

平成30年10月28日(日)14時～16時30分まで
三島市社会福祉会館 4階大会議室

豊岡三島市長が
進める案
(ミサワホームなど)
総事業費 220 億円
市民の負担額 61 億円

市民負担
61 億円

事業提案第 2 位
総事業費 120 億円
市民の負担額 40 億円

申込み不要
自由参加

市民負担
40 億円

地下水脈
への
影響

景観に
調和する
中層建築

世界遺産
富士山の
眺望阻害

地域経済
を混乱
させない

三島市は、三島駅南口東街区に高さ 99.5m の高層マンションや商業医療施設を含む再開発計画を 4 月 6 日に発表しました。事業主体はミサワホームを中心とする共同企業体で、8月28日に地権者と「協定書」を締結しました。しかし、この計画は、財政破綻の懸念や地下水への悪影響、景観阻害など、多様な問題が山積みで「水の街・三島」の魅力を壊す「乱開発」といえます。

今回、事業提案において、150 点満点中 2 点差で第 2 位となり選定されなかった、中層マンション・商業施設などの新たな再開発計画についての「市民検討会」を開催します。

豊岡市長は、現在の高層マンション計画がベストな計画と説明していますが、新たな計画は、中層施設で地下水への悪影響はありません。市民への負担額も 40 億円と現計画の 61 億円と比べて低額です。特徴は、駅前だけの集中的な商業化でなく、街中の空き店舗や空き家を活用しての「出店化」による賑わいを提案しており、街中との「共存共栄」がコンセプトになっています。空き店舗が増えている三島の商店街を、今以上に魅力的にして、街中に賑わいを取り戻していくため、市民総意の街づくり計画を考えていきましょう。

NPO 法人 グラウンドワーク三島 専務理事 渡辺豊博

主催 :NPO 法人グラウンドワーク三島 TEL055-983-0136 Eメール info@gwmishima.jp